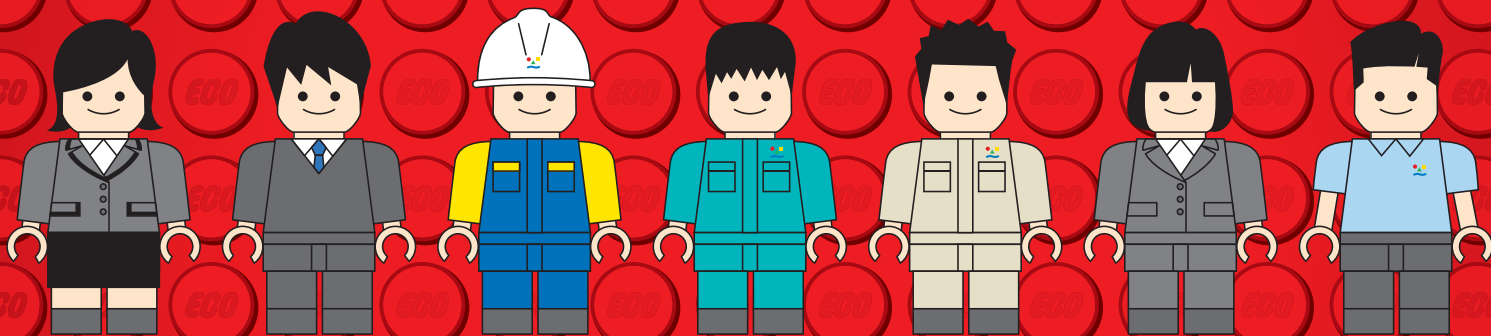


CSR報告書

Corporate Social Responsibility Report 2012

2012



チームでサポート

組み立てる E C O



Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

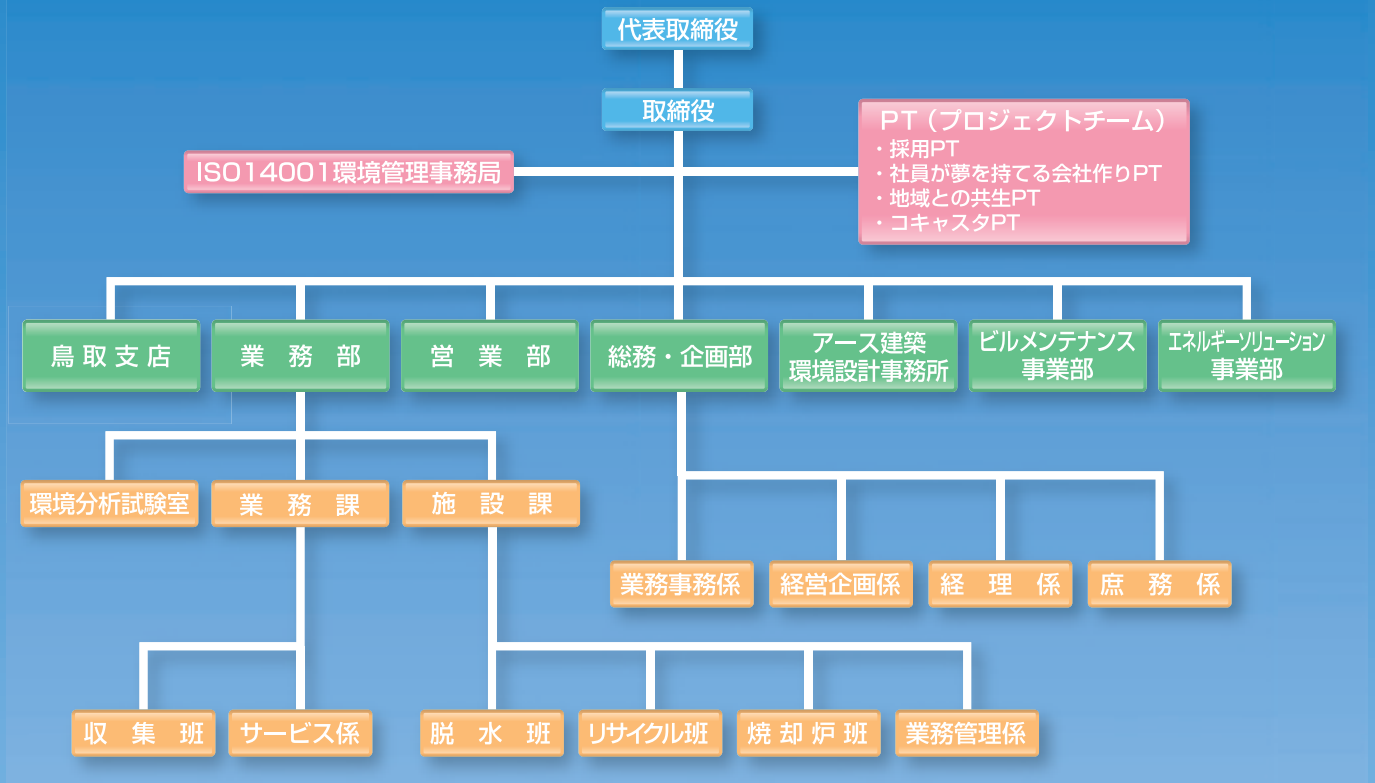
会社概要

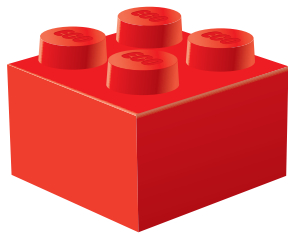
Company profile

名称	アースサポート株式会社
所在地	島根県松江市八幡町882番地2
代表者	代表取締役 尾崎俊也
設立	昭和38年2月4日
資本金	5,000万円

組織体制

Organization system





Earth Support Corporation
CSR Report 2012

CONTENTS

会社概要	1
組織体制	1
アースサポートのあゆみ	3
トップメッセージ	5
 ハイライト	6
 環境とのかかわり	9
 地域とのかかわり	16
 社会とのかかわり	21
 お客様とのかかわり	24
 社員とのつながり	26
 安全衛生への取り組み	29
 アースファームだより	30
アンケート	32
編集後記	34

1975.11

**(有)山陰清掃社
設立**
(島根県松江市)

'84.7 東亜グループの一員となる

'94.4 (有)山陰清掃社から「アース環境(株)」に社名変更

'99.9 産業廃棄物焼却・サーマルリサイクルプラント竣工

'00.7 産業廃棄物選別・リサイクルプラント竣工

'00.8 竹矢地区自治協会8団体様と「環境に関する協定」を締結

'01.3 島根県内の産業廃棄物処理業界で初めてISO14001を認証取得

'02.10 松江市竹矢地区自治会協会様と共同で廃食油リサイクル事業スタート

2003.10

山陰ビル管理(株)と、
アース環境(株)が合併し

**アースサポート(株)へ
社名変更**

'99.9



焼却炉

'00.7



選別プラント

'02.10



廃食油リサイクル事業

1963.2

**山陰ビル管理(株)
設立**
(鳥取県米子市)

アースサポート株式会社は、ビル管理・清掃を事業としていた山陰ビル管理株式会社と廃棄物処理を事業としていたアース環境株式会社が合併し、生活空間そのものの環境保全、という新たなカテゴリーへと進出しました。わたしたちは、すべてのお客様に安心と快適な環境を提供するために、環境に関するあらゆる問題を解決する「トータルソリューション」を提案するリーディングカンパニーとして挑戦し続けます。

'04.9



施工例：みるくの里

'07.6



食品リサイクルプラント

'03.10

アースサポート(株)鳥取支店開設

'04.9

アース建築・環境設計事務所設立・事業スタート

'05.6

機密文書リサイクル事業スタート

'05.9

RPFプラント及び風力・重量選別プラント竣工

'06.12

計量証明事業所(濃度)に登録

'07.3

廃プラスチック類洗浄施設を導入
(経済産業省中小企業CO₂排出量削減事業に認定)

'07.4

廃棄物管理サービス(管理代行)開始

'07.6

食品リサイクルプラント竣工

'08.5

カーボンオフセット事業開始

'08.11

東京本部開設

'09.10

BtoC解体事業スタート

'11.3

第14回環境コミュニケーション大賞「奨励賞」受賞

'11.3

Tポイント二次代理店として加盟

'11.7

太陽光パネル設置

'05.9



RPFプラント

'05.9



風力選別プラント



廃棄物に関するすべての“困った”を解決し、 すべてのお客さまに安心して快適な環境を提供する。

平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社の社会・環境・雇用等について様々な取り組みをまとめた『CSR 報告書 2012』を発刊させていただくに当たり、関係各位にたいへんご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年3月11日に未曾有の国難ともいえる東日本大震災が発生し、既に1年半が経っても避難生活を強いられている方々が多くおられ、そして福島原発の問題も解決の糸口が見いだせない状態が続いています。震災の被害にあわれた方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興がなされることを心より祈念いたします。

弊社は昭和38年に設立した旧山陰ビル管理株式会社と、昭和50年に設立した旧有限会社山陰清掃社が、平成15年に合併して誕生した会社です。合併により、ビル総合管理のノウハウと廃棄物処理・リサイクルの技術を融合させ、“都市空間のトータルサポート”というコンセプトのもと更なる地球環境保全の推進のために尽力いたしております。例えば平成19年にスタートした食品リサイクル事業では、平成22年に中国地方で初めてリサイクルループ認定を受ける等、お客さまと力を合わせて共同でリサイクル事業を構築するという活動を始めました。そして、この活動を更に推進するために新たに農業生産法人アースファームを設立し、食品リサイクルにより作った肥料を使用した有機農業にも取り組んでいます。

また、この度の震災により電力供給不足というたいへん大きな問題が発生し、日本全国で省エネルギーの推進が急務となっています。弊社でも本社事務所の照明をすべてLEDに交換し、約5kWの太陽光発電設備も導入いたしました。更に中間処理工場については水銀灯を順次LEDに切り替え、またBEMS（電力“見える化”システム）の導入を進めています。更に、廃プラスチックのRPF化や新たにタイヤのチップ化施設の導入により、産業廃棄物を燃料化し、貴重なエネルギーとして有効利用することを推進して参ります。

今後も省エネやグリーンエネルギーを積極的に取り入れるとともに、弊社自身の経験を踏まえたノウハウ

を駆使してお客さまに省エネについての様々な提案を行いたいと考えています。

そして、弊社にとってもっとも重要な活動である「地域との共生」活動においては、平成12年に周辺地域の自治会様をはじめとする8団体様と『環境に関する協定』を締結させていただき、それ以来20回の地元自治会長様見学会を実施しています。また、各自治会様に協力していただき、廃食油リサイクル事業も継続させていただいています。十年を超える長きにわたり、各自治会様、松江保健所様はじめ関係各位の皆様方にたいへんお世話になりましたことを改めて御礼申し上げます。

社会的に環境に対する関心が高まる中、地域への様々な貢献、説明責任の徹底、労働安全、地球環境保全等、CSR（Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任）活動を経営の中心的課題として真摯に取り組むことは、私たち廃棄物に関わる業界としては大変重要なのではないのでしょうか。日々変化する外部環境の変化の中、私たちの業界はその状況をしっかり認識し、社会的責任をしっかりと果たしていかなければならないと考えています。

弊社では、「廃棄物に関するすべての“困った”を解決し、すべてのお客さまに安心して快適な環境を提供する。」という経営理念のもと、様々な管理の徹底や情報公開、リサイクル率の向上等を進めて参りました。このような取り組みを1冊にまとめたものが『CSR 報告書 2012』です。私たちは、私たちの仕事そのものが環境に大きな影響を与え得ることを自覚し、そして私たちの積極的な活動が社会に対し少しでもプラスの影響を与え得るということも十分に理解し、お客さま、社員、そして地域の方々に喜んでいただける会社作りをしていかなければならないと考えています。その思いを、お客さまや社員、地域の皆さまと交わした『約束』と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく御礼申し上げます。

代表取締役社長 尾崎 俊也

ハイライト

CSR Report 2012

第8回エコプロダクツ大賞「審査委員長特別賞(奨励賞)」受賞

当社の『善循環型食品リサイクルシステム』が、「第8回エコプロダクツ大賞」において、エコサービス部門「審査委員長特別賞(奨励賞)」を受賞いたしました。「エコプロダクツ大賞」は、環境負荷の低減に配慮したすぐれた製品・サービス(エコプロダクツ)を表彰するもので、2004年に創設されました。

平成23年12月15日(木)に東京ビッグサイトにて行われた表彰式では、審査員である東京大学



名誉教授の山本良一先生より表彰状をいただきました。受賞企業が有名企業ばかりの中、当社が受賞できたことはとても嬉しく、今後の益々の励みになりました。



食品リサイクルプラント

評 価

食品リサイクルで製造した液体肥料を使って、農作物の生産・販売を手がける食品リサイクルシステムである。自社農場で自らが率先して液体肥料を用いた野菜づくりに取り組み、ホテル・旅館業界では初めて食品関連事業者と協力し、セミナーの開催などを通じて利用者増加を促し、地域農家にある程度浸透させた上で生産を開始させたりサイクル事業として優れたサービスである。

ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのつながり

安全衛生へのとりくみ

アースファームだより

島根県における「優良産廃処理業者」認定

平成24年2月29日付けで、廃棄物処理法の「優良産廃処理業者認定制度」における認定を島根県から受けました。この制度は平成23年4月1日から施行されており、産業廃棄物処理業の実施に関し優れた能力及び実績基準をクリアした産業廃棄物処理業者を、県が認定する制度です。この度、当社は、「産業廃棄物収集運搬業」「特別管理産業廃棄物収集運搬業」「産業廃棄物処分業」「特別管理産業廃棄物処分業」の4種類において、島根県より「優良産廃処理業者」として認定されました。それにより、

- 各種許可の有効期間が7年になりました(通常5年)。
- 各種許可証に「優良」の文字が入りました。

認定された産廃処理業者は、遵法性や事業の透明性が高く、財務内容も安定しているとされるため、排出事業者は廃棄物を委託する際、本制度の認定業者に委託することで、適正処理を推進するよう呼びかけられています。

今回の優良認定を励みに、今後も適正処理を推進してまいります。



(参考) 島根県廃棄物対策課 「優良産廃処理業者認定制度について」
<http://www.pref.shimane.lg.jp/haikibutsu/hyoka.html>

処理状況確認見学会の開催



平成23年4月1日より廃棄物処理法の一部が改正され、排出事業者が産業廃棄物の収集運搬または処分を委託する場合、処理状況に関する

確認を行うことが努力義務として明確化されました。この法律改正を受け、当社における産業廃棄物の中間処理状況を確認いただく見学会を開催いたしました。見学会は、平成23年7月20日～22日の3日間行い、40社52名の方々にご参加いただきました。

“廃棄物が当社に運ばれた後、どのように処理されるのか”についての説明を始め、当社の車両、施設、委託先の処分場などをスライドにて説明し、その後、実際に場内施設の見学もしていただきました。場内施設においては、実際に作業を行っている作業員が説明しました。

参加者の方からは、「日頃気になっていたことが今回の見学会で全てわかり、スッキリしたのでよかったです」等のありがたいお言葉もいただきました。今後も定期的にごこのような見学会を行っていきたいと思います。



工場内の安全整備

当社では、お客様による処理状況の確認の際、安全に工場見学を行っていただくために、工場内に安全通路を設けました。場内はトラック等が行きかっていますので、この安全通路を歩いていただくことで事故の無い安全な工場見学を行っていきたいと考えています。

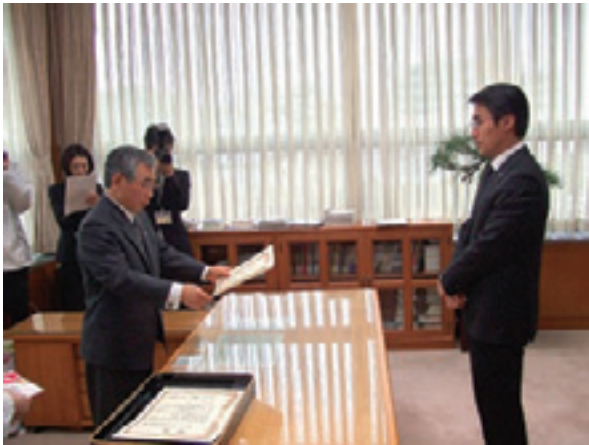


平成23年度「県民いきいき活動奨励賞」受賞

県民いきいき活動奨励賞は、島根県が取り組んでいる地域社会への貢献度が高い「県民いきいき活動」（＝営利を目的とせず、不特定多数のものの利益の増進に寄与することを目的として自発的に行われる活動）を表彰することによって、県民いきいき活動への関心をより一層高めるとともに、その活動に取り組む団体の社会的評価を高めることを目的としています。

当社が行っている“環境教育”について応募したところ、昨年度から新設された「企業部門」にて受賞いたしました。

当社では、平成12年頃よりこの地域を中心に「環境教育」の実施に取り組んでまいりました。対象は地域の小学校から、企業、自治会など広範囲に渡り、依頼を受ける数も増加しています。当社では、通常業務配属とは別に「地域との共生プロジェクトチー



ム」という環境教育専門のチームを発足して活動を行っています。内容としては、初期は主に廃棄物の分別や廃棄物収集運搬車両の実演などでしたが、平成19年の食品リサイクルシステム構築後は、食品リサイクルが環境問題と食の問題の両方に密着していることから、これらの問題を身近に感じて欲しいと考え、食品リサイクルの仕組みの説明を工場見学や収穫体験を通じて行う「食育」にも力を注いでいます。活動において評価された点として、

廃棄物取扱事業者ならではの地元小学校への環境教育、食品リサイクルに関連した食育活動等、活動の展開の拡がり、参加者の増加など、着実な成果となっている。部署の異なる若手プロジェクトチームを設けて活動を行うなど、組織体制も特徴的な取り組みとなっている。

という点を挙げていただきました。

平成24年3月12日に島根県庁知事室にて行われた表彰式では、島根県の溝口善兵衛知事より表彰状をいただきました。

私たちは、仕事そのものが環境へ非常に大きな影響を与えることを認識し、この業種だからこそできる、「環境教育」を通じた排出事業者へのコンプライアンス意識向上、そして未来を担う子供たちへの環境保全や食に対する意識向上を図るため、今後も活動を続けてきます。



環境とのかかわり

CSR Report 2012

環境データ

焼却炉排ガスデータ

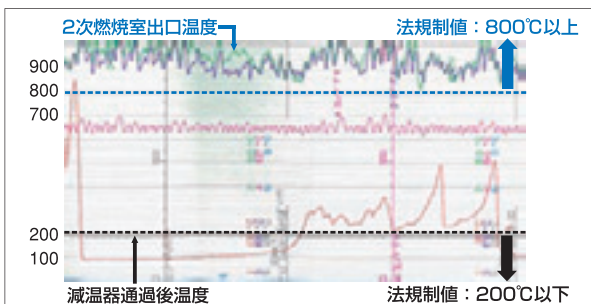
測定項目	測定値		法規制値	単位
	H23.9.7	H24.3.31		
ダイオキシン類	0.11	0.066	1	ng-TEQ/Nm ³
塩化水素	30	1.0	430 (700)	ppm (mg/Nm ³)
ばいじん	0.018	0.012	0.08	g/Nm ³
硫黄酸化物	0.056	0.059	25.9 24.17	Nm ³ /h
窒素酸化物	92	73	250	cm ³ /Nm ³

焼却炉燃え殻データ

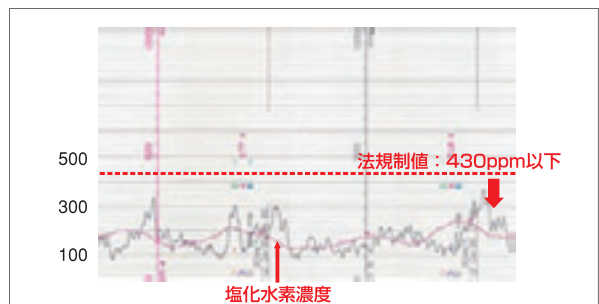
測定項目	測定値		法規制値	単位
	H23.3.26	H23.9.7		
ダイオキシン類	0.0084	1.9	3	ng-TEQ/g

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H23.9.7		
アルキル水銀化合物	検出せず	検出されないこと	mg/㍑
水銀又はその化合物	N.D.	≤0.005	mg/㍑
カドミウム又はその化合物	N.D.	≤0.1	mg/㍑
鉛又はその化合物	N.D.	≤0.1	mg/㍑
六価クロム化合物	N.D.	≤0.5	mg/㍑
砒素及びその化合物	N.D.	≤0.1	mg/㍑
P C B	N.D.	≤0.03	mg/㍑
セレン及びその化合物	N.D.	≤0.1	mg/㍑

焼却炉温度チャート



焼却炉塩化水素濃度チャート



排水データ

測定項目	測定値		法規制値	単位
	H23.7.28	H24.1.20		
ダイオキシン類	0.020	0.00035	10	pg-TEQ/ℓ

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H24.1.20		
カドミウム化合物	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
シアン化合物	N.D.	≤1	mg/ℓ
有機燐化合物	N.D.	≤1	mg/ℓ
鉛又はその化合物	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
六価クロム化合物	N.D.	≤0.5	mg/ℓ
砒素及びその化合物	0.002	≤0.1	mg/ℓ
水銀又はその化合物	N.D.	≤0.005	mg/ℓ
アルキル水銀化合物	検出せず	検出されないこと	mg/ℓ
P C B	N.D.	≤0.03	mg/ℓ
トリクロロエチレン	N.D.	≤0.3	mg/ℓ
テトラクロロエチレン	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
ジクロロメタン	N.D.	≤0.2	mg/ℓ
四塩化炭素	N.D.	≤0.02	mg/ℓ
1, 2-ジクロロエタン	N.D.	≤0.04	mg/ℓ
1, 1-ジクロロエチレン	N.D.	≤0.2	mg/ℓ
シス-1, 2-ジクロロエチレン	N.D.	≤0.4	mg/ℓ
1, 1, 1-トリクロロエタン	N.D.	≤3	mg/ℓ
1, 1, 2-トリクロロエタン	N.D.	≤0.06	mg/ℓ
1, 3-ジクロロプロペン	N.D.	≤0.02	mg/ℓ
チウラム	N.D.	≤0.06	mg/ℓ
シマジン	N.D.	≤0.03	mg/ℓ
チオベンカルブ	N.D.	≤0.2	mg/ℓ
ベンゼン	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
セレン及びその化合物	N.D.	≤0.1	mg/ℓ
硝酸性窒素・亜硝酸性窒素 及びアンモニア性窒素含有量	0.4	≤100	mg/ℓ
ふっ素及びその化合物	N.D.	≤8	mg/ℓ
ほう素化合物	N.D.	≤15	mg/ℓ

ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

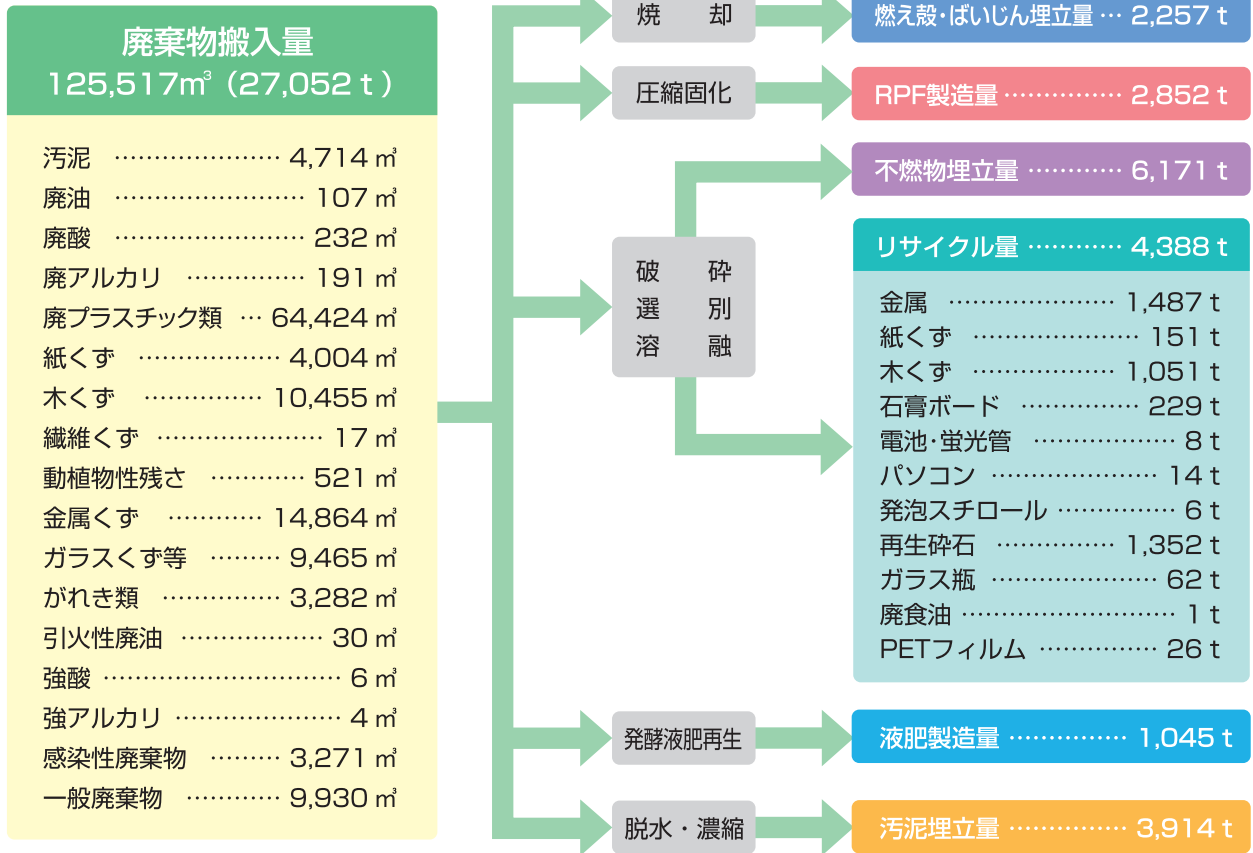
お客様とのかかわり

社員とのかかわり

安全衛生へのとりくみ

アースファームだより

廃棄物量



ISO14001への取り組み

【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心して快適な環境を提供する。

【環境方針】

- 1 環境目的・目標を明確にし、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な環境管理活動を行います。
- 2 地球環境保全のため、廃棄物の適正な収集・運搬・処理を行うとともに新技術・新設備を導入し、省資源、省エネルギー、廃棄物の再資源化及び減容化に努めます。
- 3 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、汚染の予防に努め、かつ、環境保全の継続的改善に努めます。
- 4 環境教育・社内広報活動などを通じて、全従業員の環境保全に対する意識の向上を図ります。
- 5 地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- 6 環境方針は要求があれば、一般にも開示します。

平成17年11月1日

代表取締役社長 尾崎 俊也

環境目標と結果

目的	平成22年度（平成22年10月～平成23年9月）		達成率
A重油使用量削減	目標	A重油使用量/稼働時間=45%/h以下（立ち上げ、立ち下げを含む）	◎
	結果	40.6%/h	
リサイクル率向上	目標	リサイクル率53%（汚泥を除く）	○
	結果	53.6%	
定期収集時間短縮	目標	定期収集時間1件あたり6分53秒以下	◎
	結果	6分50秒/件	
紙文書のペーパーレス化	目標	4文書	◎
	結果	5文書	
環境教育	目標	16回/年	◎
	結果	17回/年	
LED / 太陽光パネル / 省エネソフト受注	目標	1件/年	◎
	結果	3件/年	

×：達成率が80%未満 △：達成率が80%以上100%未満 ○：達成率は100% ◎：達成率が100%を超えたもの

外部審査結果

平成13年3月にISO14001を認証取得し、今年で11年目をむかえました。審査機関である（財）日本品質保証機構による定期審査が、平成24年2月22日～24日に行われました。取得以降、今回も含めて改善指摘事項（不適合）はなく、引き続き認証継続とご判断をいただきました。また、今回の審査では、次の2点をグッドポイントとして評価いただきました。



- 1 照明器具のLEDへの転換を継続的に実施し、処理工場（RPF棟）へ拡大するとともに、新たに太陽光発電設備、電気自動車の導入等の新技术を積極的に活用した環境活動が展開されている点。
- 2 改正廃掃法に伴う排出事業者の努力義務（処理状況の確認）を考慮し、顧客に対する「処理状況確認見学会」を積極的に開催する等の排出事業者と一体となった法順守活動が実施されている点。

実施月	審査の種類	改善指摘事項A	改善指摘事項B	改善の機会	ストロングポイント	グッドポイント
H20年1月	定期審査	なし	なし	5件	1件	—
H21年2月	定期審査	なし	なし	8件	3件	—
H22年1月	更新審査	なし	なし	3件	なし	—
H23年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	2件
H24年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	2件



平成23年度しまね地球温暖化防止活動大賞「大賞」受賞

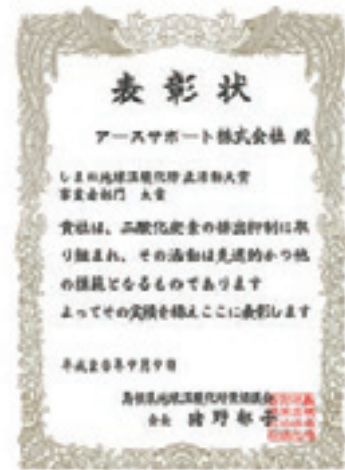


島根県地球温暖化対策協議会が行っている「しまね地球温暖化防止活動大賞」は、地球温暖化の防止に関し、先進的又は他の模範となる活動実績のあった家庭、事業者、学校等に対し、その実績を表彰する取り組みで、本年度で5回目となります。

当社は、平成21年、平成22年と2年連続で事業部門「優秀賞」を受賞していましたが、今回、“食品リサイクル（リサイクルループ）の取り組みの他、地産地消型オフセット、LED・電気自動車・太陽光パネル導入などによるCO₂削減”という内容で応募したところ、事業者部門「大賞」を受賞することができました。

平成23年9月9日（金）に行われた島根県地球温暖化対策推進会議の中で表彰式が行われました。

これを励みに今後ますますリサイクルを推進し、CO₂削減に貢献したいと思います。



太陽光パネルの設置

平成23年7月に、当社RPFプラント建屋の壁面に太陽光パネルを設置しました。今回導入したパネルは42枚で、設計的には約5kwの発電量です。また、本社事務所入口に発電量が分かる液晶表示装置を取り付けています。

今回太陽光発電パネルを導入したことで、廃棄物の中間処理のために必要な電力の一部を太陽光発電というグリーン電力によってまかなうことが可能となりました。当社のような大規模な産業廃棄物中間処理・リサイクル施設を稼働させるためには多くの

電力が必要となるため、42枚の太陽光発電パネルで全てをまかなうことは無理ではありませんが、まずこの42枚のパネルをきっかけとし、更なる省エネルギーやグリーンエネルギーのために努力を続けていきたいと思っています。



🧱 カーボンオフセット

カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動によって排出される二酸化炭素（CO₂）を、何らかの形で埋め合わせ（相殺=オフセット）することです。当社では、CO₂削減活動はもちろんのこと、平成20年5月から、既に排出したCO₂を植林事業と排出権の購入によりオフセットする活動を行っており、封筒やパンフレット類の製作、廃棄物収集運搬車両の使用に伴うCO₂などをオフセットしてきました。今年度は、東日本大震災の被災地復興支援と目的としたカーボンオフセットを実施しました。

排出権購入によるカーボンオフセットは3期連続となりますが、本年度は、環境省の「オフセット・クレジット（J-VET）制度」を活用し、CO₂年間排出量の5%に相当する138トンのうち72トンを、津波被害を受けられた釜石地方森林組合から購入いたしました。また、釜石市で被災者のアルバムなどの遺失物を回収・保管し、持ち主を見つけて返却する事業に参加しており、東日本大震災の被災地支援

も兼ねて実施いたしました。残りの66トンの排出権は、中国地方の企業などから購入する予定にしております。今回の取り組みにより、被災地復興支援と温暖化防止対策の両立を目指します。



第1回カーボンオフセット大賞一次審査通過

第1回カーボンオフセット大賞に申請したところ、残念ながら入賞は果たせませんでしたが、一次審査を通過しましたので、カーボンオフセット大賞のHPに事例紹介として当社のカーボンオフセット事例が掲載されました。

🧱 LED導入

平成22年8月にLEDを導入し、本社事務所の照明機器を取替えましたが、今年度は、全事務所の蛍光灯をLEDに変更しました。また、RPFプラントの建屋においても、水銀灯の一部をLEDに取替え、順次LED化をはかります。



不法投棄パトロール・不法投棄物撤去作業

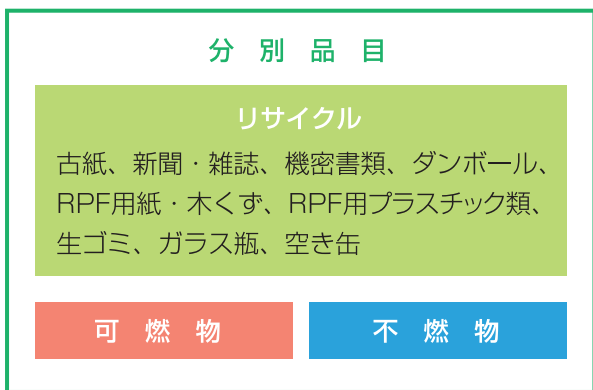
平成23年11月10日（木）、社団法人島根県産業廃棄物協会による不法投棄廃棄物の撤去活動が行われました。この活動は、本年2回にわたって行われた、県下一斉合同パトロールの際に発見された不法投棄物を中心に、その撤去と回収作業を行ったもので、当社も所属する社団法人島根県産業廃棄物協会会員の他、島根県職員や市町担当職員、地区住民監視モニター等の参加がありました。「家庭ごみ」

などの一般廃棄物を中心に、県内全域6箇所では約58m³、当社が参加した松江地域では約10m³を回収しました。テレビの地上デジタル化の完全施行を受け、不要になったブラウン管テレビの不法投棄が増加しているようです。廃棄物の不法投棄は、環境に重大な影響をおよぼすおそれがあることから、法律で禁止されている重大な犯罪です。不法投棄根絶のためにも、今後も適正処理を推進していきます。

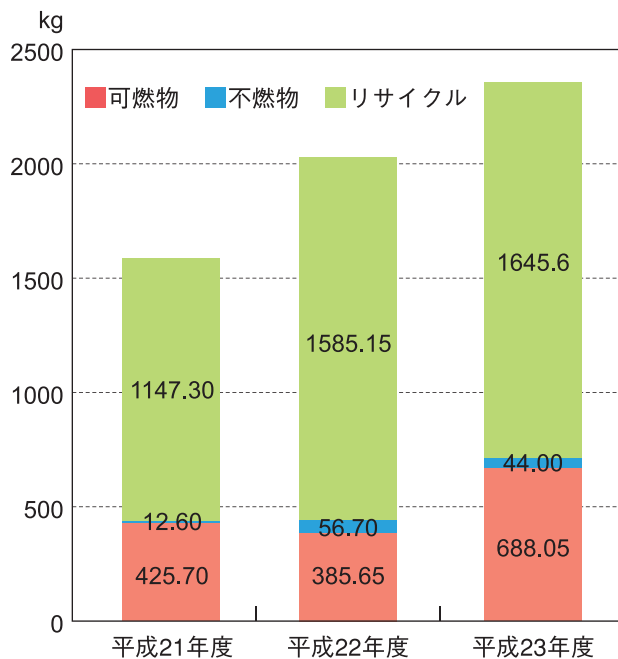


事務所ゴミの分別とリサイクル

当社では、事務所や現場休憩室から出る事務所ゴミの分別を徹底し、リサイクル推進を行っています。



分別品目は非常に多いですが、今後もリサイクル率の向上を目指すとともに、出来るだけゴミを出さないよう努力していきます。



地域とのかかわり

CSR Report 2012

松江環境フェスティバル2011にブース出展



平成23年9月18日にくにびきメッセで開催された「松江環境フェスティバル2011」にブースを出展しました。市民が環境を見つめ直す機会を提供することを目的に松江市が中心となり毎年行われているイベントで、当社は今回が6回目の参加となりました。

今年は、「江戸（むかし）からつながるエコに学ぶ」～「もったいない」の知恵の輪～」をテーマに開催されました。当社も、リサイクル施設に関するパネ

ル展示の他に、江戸時代のリサイクル業者についての資料を展示しました。また、食品残さをリサイクルして作った液体肥料と、液体肥料のみで栽培した野菜を販売させていただきました。当社のブースにも多くの方に立ち寄っていただき、出展野菜も完売に近い売れ行きでした。当社の取り組みを多くの方に知っていただく機会となったと思います。



CSR Report 2012

おかげ天神市に参加

毎月25日に松江市天神町商店街で行われている「おかげ天神市」に出店しました。当社では、毎年8月の年1回ですが、アースファームや当社の液体肥料をご使用いただいている近隣農家の方々の野菜を販売させていただいています。お客様からは「地域の活性のために店を出してくれるのは嬉しい」などと声をかけていただき、当社が目指している『地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、地域に必要とされる会社作りを行う』という経営理念に沿った活動を行えたのではないかと思います。今後も地元根付いた活動を継続していきたいと思ひます。



ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり

安全衛生へのとりくみ

アースファームだより

🧱 地元小学校における環境教育

当社では「地域との共生プロジェクトチーム」による活動の一環として、平成12年頃から近隣小学校を中心に環境教育を実施しています。

毎年恒例となって依頼をいただく小学校が増え、今年度は新たに川津小学校様からも依頼をいただき、過去最高の8校の小学校で環境教育を行いました。今年度は、「ゴミの分別方法とゴミのゆくえ」「ごみ回収車（パッカー車）のしくみ」に加え、新松江市処理場稼働に伴う分別方法の変更点、ごみ袋の変更内容を加えて説明しました。この授業では、家庭から出るごみと指定袋を持参し、ゲーム方式で分別方法を説明します。その後、分別されたごみが最終的にどこに運ばれ、どのようにリサイクルされるかなどを写真やイラストで説明します。また、実際にごみ収集をするパッカー車を学校に持って行き、ごみ

の投入体験や緊急ボタンの実演を行います。今回からは、環境教育に参加してくれた子ども達に「修了証」を渡す取り組みも開始しました。

また、竹矢小学校様では「食育」を行なっています。当社の食品リサイクルについての説明と施設見学の後、アースファームの農場にて、じゃがいもの収穫体験を行いました。当日は猛暑でしたが、今年新たにクラス対抗で収穫したじゃがいもの大きさを競う内容を追加したところ、とても盛り上がりました。当社で行っている一連のリサイクルシステムと、またそれにより栽培された野菜を実際に収穫し食べてもらうことで、「食」の重要性についてしっかり学んでいただけるプログラムにしています。「環境教育」と併せ、この「食育」も今後さらに充実させていきたいと考えています。

- 「ゴミの分別方法とゴミのゆくえ」実施校
- 「ごみ回収車（パッカー車）のしくみ」実施校

平成23年4月25日	出雲郷小学校様	4年生2クラス計75名
平成23年4月28日	揖屋小学校様	4年生2クラス計78名
平成23年5月10日	持田小学校様	4年生28名
平成23年5月11日	雑賀小学校様	4年生37名
平成23年5月12日	竹矢小学校様	4年生2クラス計47名
平成23年5月17日	母衣小学校様	4年生2クラス計77名
平成23年5月18日	意東小学校様	4年生2クラス計46名
平成23年6月14日	川津小学校様	4年生3クラス計124名



- 「食育」実施校
（食品リサイクル施設見学とじゃがいも収穫体験）

平成23年7月15日	竹矢小学校様	4年生2クラス計46名
------------	--------	-------------



川津小学校 5年生の工場見学



平成23年11月21日、松江土建株式会社様、松和建设有限会社様の環境教育活動の一環で、川津小学校の5年生の皆さん（3クラス計約100名）が来社され、工場見学を行いました。児童の皆さんは、まず松和建设様が行っている工事現場にて、建設現場の様子や重機、廃棄物などの見学を行い、その後その廃棄物がどのように処理されているか勉強するために当社へ来社してくださいました。

大変大人数でしたので、クラスごとに①工場内施設見学、②車輛見学、③会議室でのスライド説明を同時進行で行い、それぞれ約15分でローテーションし見学していただきました。場内見学では、施設

の一部はそれぞれの施設担当者が説明を行い、児童たちからの「焼却炉のクレーンの名前」や「ピットの深さ」等の質問に答えました。車輛説明ではフックロール車とパッカー車を見学してもらい、普段見ることの出来ないフックロール車のコンテナ脱着にとっても興味を持ち、またパッカー車へのゴミの投入はととても喜んで取組まれました。会議室でのスライド説明では真剣に話を聞いていただき、特にLEDや太陽光発電、RPFのサンプルに興味津々な様子でした。

今後も地域に喜ばれ、必要とされる会社作りを目指し、さらに活動の幅を広げていきたいと考えております。



第19回地元自治会様見学会

平成23年7月17日、第19回となる地元自治会様見学会を行いました。多くの自治会長様、立会人として松江保健所環境保全グループ様にご参加いただき、第18回以降のさまざまな取組みを説明し、その後工場の中を見学していただきました。当日の



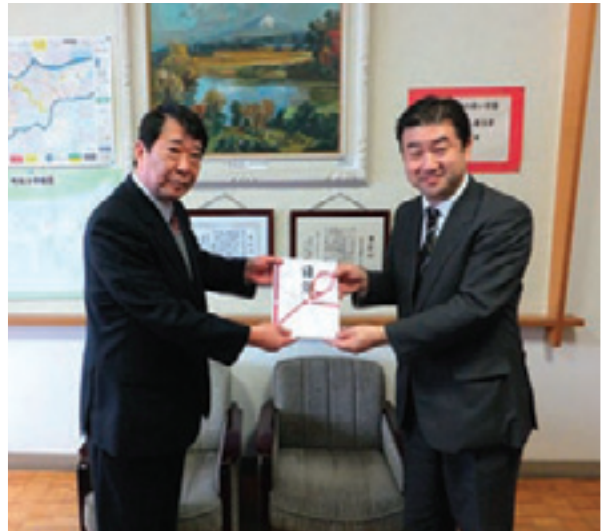
説明資料は、地元自治会の各戸様へ配布させていただき、当社の環境や地域への取組みについて知っていただく機会となっています。



竹矢小学校へ「みどりの図書」寄贈

平成16年に地元の竹矢小学校様へ環境に関する図書を「みどりの図書」と名付け寄贈し、それ以降毎年寄贈をしています。今年も「地域との共生プロジェクトチーム」が中心となり、平成24年2月27日に環境図書の寄贈を行いました。

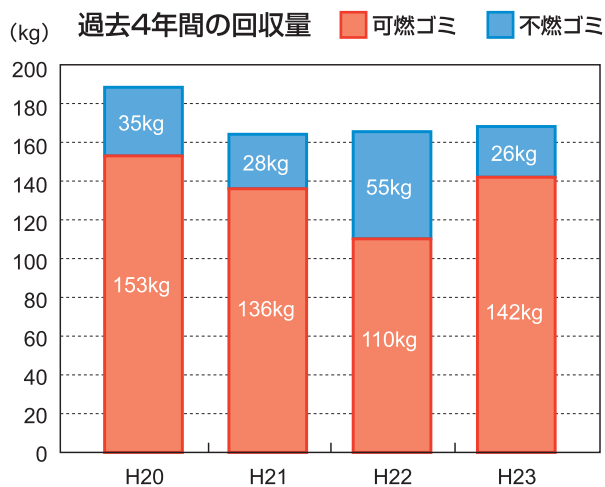
校長先生より、毎年当社が行なっている図書寄贈と環境教育に対し、とても感謝しているとお言葉を頂きました。また、学校のカリキュラムが変更になり必要になる図書が多量にあるが、今回の図書寄贈により来年度中には必要な本を全てそろえることが出来ると、大変喜んで頂きました。当社の取り組みに対し感謝のお言葉をいただき、とても有意義な取り組みを行っていると感じる事が出来ました。



書名	出版社	書名	出版社
世界のあいさつ	福音館書店	日本の暮らし絵辞典	PHP 研究所
まるいちきゅうのまるいいちにち	童話屋	もののはじまり館	小学館
鳥の巣ものがたり	偕成社	三河のエジソン	佼成出版社
小さな地球3 帰りの道一年 生まれて死んでまた生まれる	偕成社	トイレのおかげ	福音館書店
世界のだっことおんぶの絵本	メディカ出版	食べもの記	福音館書店
虫たちのふしぎ	福音館書店	ひとしずくの水	あすなろ書房
昆虫のふしぎパワー	世界文化社	棚田を歩けば	福音館書店
動物の暮らし(ニューワイド学研の図鑑)	学習研究社	ツキノワグマ	偕成社
生き物の暮らし(ニューワイド学研の図鑑)	学習研究社	米が育てたオオクワガタ	岩崎書店
自然のかくし絵	偕成社	土をつくる生きものたち	岩崎書店
海の擬態生物	誠文堂新光社	進化のはなし	評論社
雑木林のコレクション	フレーベル館	ニュースの現場で考える	岩崎書店
たまごのはなし	ほるぷ出版	世界を信じるためのメソッド 僕らの時代のメディアリテラシー	理論社
地球生活記	福音館書店	生ゴミはよみがえる 土はいのちのみなもと	講談社
あなたのいえ わたしのいえ	福音館書店	国境なき医師団とは	大月書店
クマノミとサンゴの海の魚たち	岩崎書店	シマが基地になった日	金の星社
サンゴの森	そうえん社	生命の木	草土文化
こすもすと虫たち	新日本出版社	土の中から生まれたよ	平凡社
世界の子どもたちの暮らし	あすなろ書房	しらべよう! はたらく犬たち2	リブリオ出版
花はどこから	福音館書店	生物の消えた島	福音館書店
手で食べる?	福音館書店	ビジュアル版、平和博物館戦跡ガイド 広島平和記念資料館と戦跡めぐり	汐文社
やまおやじ	小学館	なぜ、なに?よくわかるエネルギー教室 全4巻	フレーベル館
イシガメの里	小峰書店	銀のほのおの国	福音館書店
ハブの棲む島	ポプラ社		

地域美化活動

平成12年から行っている地域の清掃活動では、月2回事務所の職員を中心として始業前の30分、会社周辺のゴミ拾いを行っています。当社のすぐ付近にある中海はラムサール条約に登録されていますが、草むらへの空き缶やタバコのポイ捨てが多く、昨年回収したごみも年間で170kg近くになりました。当社は今後も引き続きゴミ拾いを行い、地域の環境保全に努めていきたいと考えております。



廃食油リサイクル

平成14年10月より、地元自治会様の各家庭から排出される廃食油を回収し、軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルを行っ

ています。現在までに、2,195リットルの廃食油をリサイクルし、当社の工場内の重機や場内車の燃料として利用しています。



ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのつながり

安全衛生へのとりくみ

アースファームだより

社会とのかかわり

CSR Report 2012

東日本大震災復興支援

はじめに、平成23年3月の東日本大震災において、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。私たちは島根県という被災地から遠く離れた場所にいるため、被害を受けた方々に対してできることは限られています。その中で私たちができることをしていきたいと考えております。

まず、当社及び東亜建物管理(株)、(株)島根東亜建物管理、東亜アースホールディングス(株)のグループ全社がまとめ、100万円の義援金を日本赤十字社(山陰中央新報社様経由)にお送りしました。また、社内でも義援金を募り、「アースサポート社員一同」として20万円の義援金をお送りしました。そして、島根県での救援物資の受付開始に伴い、飲料水10箱(530ml×240本)と当社で取り扱っているごみ袋20箱(1万袋)を被災地に皆様にお届けいただくよう、受付窓口である陸上自衛隊出雲駐屯地にてお渡ししました。

その後、平成23年7月から釜石市に当社職員を

派遣し、遺失物管理事業や廃棄物の処理のお手伝いをさせていただいております。現場からの災害廃棄物の撤去には、まだ発見されていないご遺体や、住民の方々にとってかけがえのない思い出の品々があります。そうしたことを十分に考慮し、適切且つ迅速に作業を進めていっております。こういった状況を踏まえ、同月松江ロータリークラブ様に「東日本大震災におけるがれき類撤去の諸問題について」という講演もさせていただきました。



CSR Report 2012

Tポイントサービスの二次代理店になりました

平成23年5月1日より、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の運営するTポイントサービスの二次代理店として島根県で初めて契約を締結し、Tポイント加盟店舗の募集を開始しました。Tポイントサービスは、利用店舗数約35,000店舗、会員数3,703万人(2011年3月末現在)を有する国内最大の共通ポイントサービスです。全国にチェーン展開をする企業との提携に加え、2011年4月からはTポイントの利便性・利用価値を高めるため、全国各地のローカルショップに関しても加

盟を拡大しています。この加盟店舗拡大の流れを受け、当社は二次代理店の契約を締結し、当社が廃棄物収集・処理サービスを提供している飲食店や旅館、その他店舗等のお客様を中心に加盟店を募集していくことといたしました。これにより、当社では、廃棄物処理だけでなく、Tポイントサービスの加盟をセットで提案することで、お客さまの本業部分での貢献をさせていただきたいと考えています。



全国産業廃棄物連合会の「優良事業所表彰」

平成23年6月17日に東京都にて行われた全国産業廃棄物連合会総会において、「産業廃棄物処理業者の模範となるべき業務を残した」との評価をいただき「優良事業所」として表彰されました。

当社は、創立以来“地球環境保全型企业”として廃棄物の適正処理・リサイクルを推進しています。平成11年に山陰地方で初めてダイオキシン類対策特別措置法に則った新型焼却・サーマルリサイクル施設を建設し、またその後も廃食油リサイクル施設、RPF製造施設、食品リサイクル施設の設置等、さまざまなリサイクル施設を設置し、単に廃棄物を処理するのではなく、廃棄物を「価値ある資源」として再利用しようという取組みを推進しています。今後も地球・地域の環境に貢献できる活動を行ってまいります。



工場見学受入、お客様向けの勉強会の実施

当社への工場見学は、廃棄物の排出事業者だけでなく、一般市民の方や学生さんが来社されます。排出事業者責任として廃棄物処理状況を確認される企業の方も、自分たちが排出した廃棄物が目の前で処理される現状を見て、「大変勉強になった」と言われます。このように随時処理施設の見学を受け入れている他、お客様のご希望の場所においてご希望のテーマに沿った個別の勉強会も行っております。昨年も当社のお客様から「工務担当者様向けに廃棄物

処理法を排出事業者として遵守するポイントを説明して欲しい」というご依頼をいただき、お客様の事務所にて勉強会を開催させていただきました。

食品リサイクルプラントの竣工後は、一般団体の見学が増え、メディアの取材依頼もありました。廃棄物の処理というのは、普段の生活では見る機会はありませんが、環境問題と密接なかわりを持っています。わたしたちは、工場見学を通じて環境意識の向上を図っています。



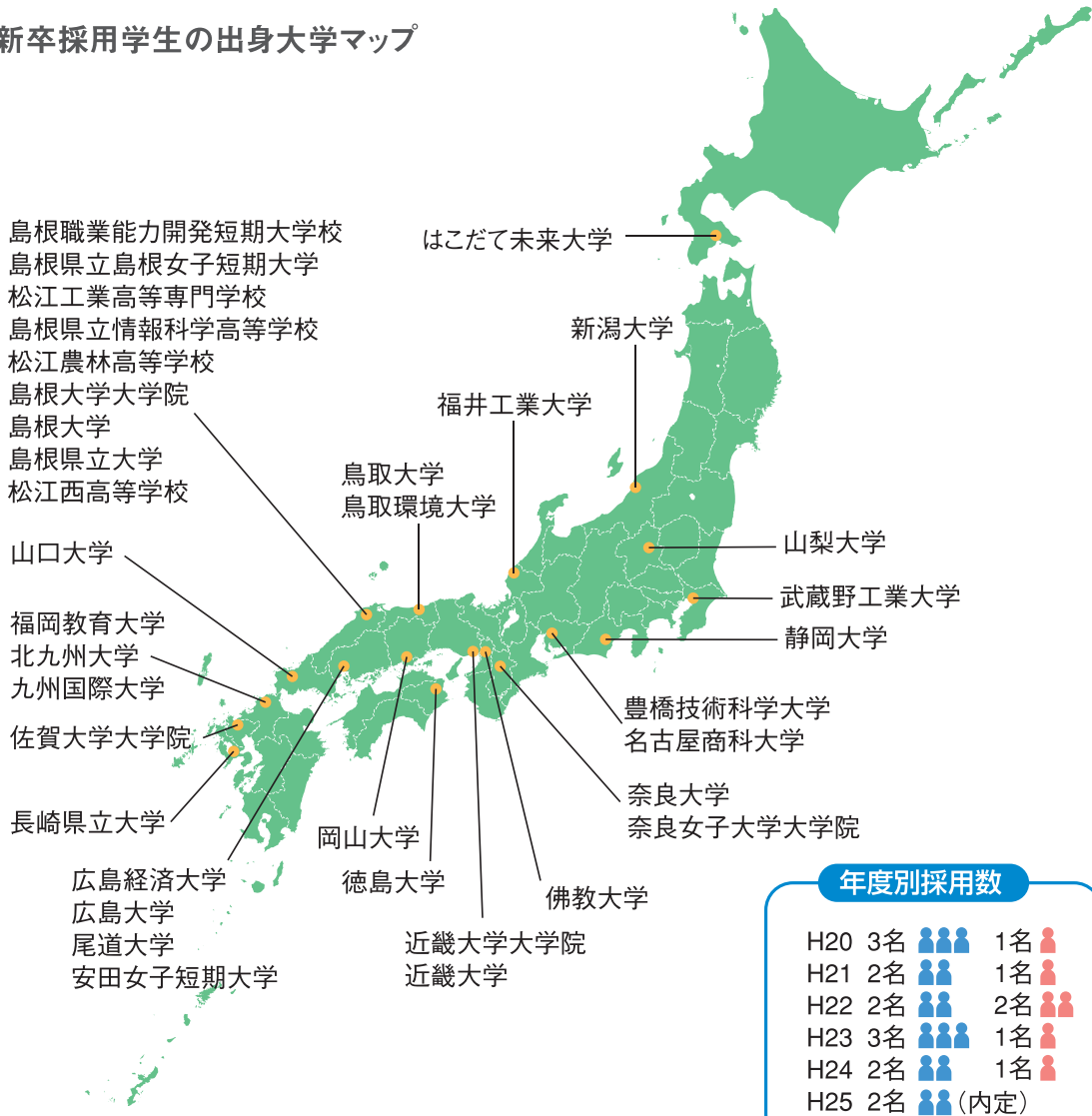


新卒採用 ～安定的な雇用機会の提供のために～

学生の内定率低下をはじめ、企業の雇用問題は大きな社会問題となっています。当社では、毎年定期的に新卒採用活動を行い、地域に貢献したいと考え

ている多くの学生が会社説明会に参加されます。また、障害者雇用も積極的に行い、できる限りの雇用の創出をしたいと考えています。

新卒採用学生の出身大学マップ



ハイライト
環境とのかかわり
地域とのかかわり
社会とのかかわり
お客様とのかかわり
社員とのかかわり
安全衛生へのとりくみ
アースファームだより

お客様とのかかわり

CSR Report 2012

顧客アンケート

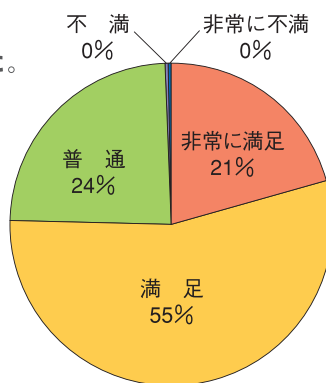
「コキヤク（顧客）の要求からスタートしよう」というテーマのもと、顧客満足向上のための活動を行う「コキヤスタPT」が中心となり、年1回お客

様満足度調査アンケートを行っています。お客様の声をしっかり把握させていただき、より良いサービスが提供できるよう日々努力を続けていきます。

アンケート送付数：1850枚、返信率：21.3%

収集ドライバーの対応について質問をしました。

昨年も同様の質問をさせていただきましたが、昨年よりもより多くのお客様にご満足いただくことができた結果となり、社員一同心から喜んでいきます。今後もより作業レベルを向上させていくよう、社内研修を徹底していきたいと考えています。



廃棄物の収集、運搬、処理の他に、次の提案の中で希望されるものがあるか質問をしました。

個別の勉強会

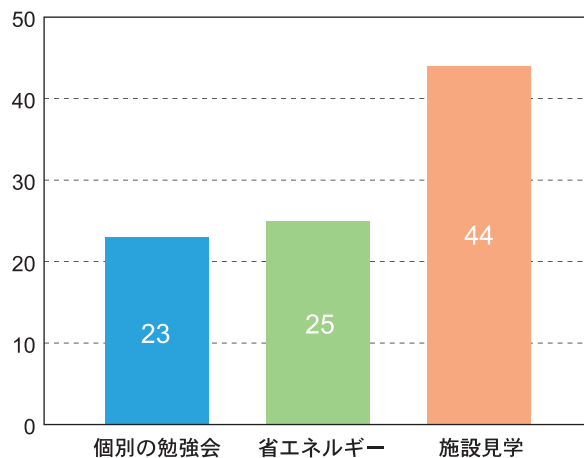
産業廃棄物処理法や電子マニフェスト等についてお話をさせていただくことができます

省エネルギー

LED電球や総合エネルギー管理ソフトの導入について御提案させていただきますことができます

施設見学

平成23年4月の廃棄物処理法改正に伴い、排出事業者の処分状況確認が努力義務化されております



ご希望されたお客様に対して、それぞれご提案、ご案内をさせていただきました。特に多くのお客様から希望があった施設見学については、「処理状況確認見学会」を開催させていただき好評いただきました。今後もご希望のお客様には個別対応させていただき、定期的に見学会を実施させていただき予定です。

産業廃棄物管理基礎セミナーの開催

平成24年3月28日(水)、くびきメッセにて「産業廃棄物管理基礎セミナー」を実施しました。

平成23年8月1日に松江市の「事業所ごみ受入区分」が変更になり、事業所から出る不燃ごみについては(一部の不燃ごみを除く)産業廃棄物として処理をすることになりました。これに伴い、排出事業者様の責任として、産業廃棄物処理委託契約書の締結、産業廃棄物管理票(マニフェスト伝票)の発行等の義務が生じています。

廃棄物処理業者の責任として、必要な情報を広く

一般にお伝えしたいと「産業廃棄物管理基礎セミナー」を開催したところ、32名の方にご参加いただきました。セミナーは二部構成で行い、第一部は、島根県松江保健所環境衛生部環境保全グループ課長神門様、主任技師牛尾様より、「産業廃棄物管理の基礎知識」を説明いただきました。また、第二部は、弊社社長の尾崎より「不燃ごみ産廃化についての弊社の対応」について説明させていただきました。

今後も松江市内の事業者様を対象に、「産業廃棄物管理基礎セミナー」を定期的で開催する予定です。



社外報発行

当社では、「アースサポートNEWS」と名づけた社外報を3ヶ月に1度お客様に発行しています。内容は、法律改正情報、当社のリサイクルや環境活動などを掲載しています。以前の顧客アンケートの結

果から、82%の方に読んでいただけているという結果が出て、非常にうれしく思っています。今後も内容を充実させ、お客様のお役に立つ情報を提供していきたいよう努力していきます。



社員とのつながり

CSR Report 2012

🧱 ファミリーデー

「社員が夢を持てる会社作りPT」では、社員のご家族に当社に対する安心と理解を深めていただく場として「家族見学会」を毎年1回開催し、社員のご家族の方を会社に招待しています。9回目となる昨年度も7月18日に開催し、15家族47名にご参



加いただきました。ご家族からお預かりしている大切な社員が普段どのように働いているのか理解していただ



くため、会社の事業説明や工場見学を兼ねたクイズラリーを行い、クイズで最も高得点を獲得したご家族には、節電を考慮した「羽なし扇風機」をプレゼントしました。また、最後には社員からご家族へ向けたメッセージビデオを上映し、毎年ご好評いただいております。今後も継続していくことで、社員とご家族に安心していただける会社作りを行ってきたいと思います。

CSR Report 2012

🧱 誕生日

社会人になると、誕生日を祝ってもらう機会というのは少なくなったように思います。当社では、社員の誕生日になると、夕礼の後にクラッカーを鳴らしハッピーバースディの歌と共に誕生日ケーキをプ

レゼントし、お祝いしています。大勢にお祝いをしてもらえるというのは、大変うれしいもので、社員一同喜んでいきます。



ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのつながり

安全衛生へのとりくみ

アイスクリームだより

事業報告会



事業報告会は、年2回全社員が一同に会し、当社の現状や今後の方向性について共通の認識をもつための会議です。

平成23年12月18日に行われた報告会では、当社の平成22年度（平成22年10月1日～23年9月30日）の事業結果の報告や各種表彰、そして平成23年度（平成23年10月1日～24年9月30日）の各部署での目標や予算関係の発表が行われました。また、毎年この時期の発表会では、事前に社員に公募した「この1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取組み」の中から、年間MVPの発表が行われます。今回は、「アースサポーター賞」に、工場見学推進チームが選ばれました。

平成23年4月からの法改正によって『中間処理状況確認の努力義務』という項目が追加になったため見学をされる方々が増加すると考え、部署間を横断し工場見学の対応方法を改善したことが評価されました。また、環境コミュニケーション大賞奨励賞やエコプロダクツ大賞の審査委員長特別賞（奨励賞）受賞という、当社にとって念願の全国規模での受賞を果たしたことが評価された経営企画系のメンバーが「年間MVP」を受賞しました。その他、プロジェクトチームの表彰や各部署から投票によって選出されたメンバーへの表彰等も行われ、大変盛り上がりました。



レクリエーション



「社員が夢を持つ会社作りPT」が主催し、社員旅行、松江市民レガッタ大会への参加、ボウリング大会などを開催しています。

このようなレクリエーションは希望者のみの参加ですが、普段あまり接することのない他部署との交流を図り、社員同士の絆を深めています。

今年度で7回目となった社員旅行では、平成23年9月10～11日に大阪・神戸～淡路島・鳴門方

面へ行きました。天候にも恵まれ良い思い出となりました。



社員研修



廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）は、たびたび改正され、複雑なものとなってきています。その他、リサイクルや地球温暖化対策などの法律が次々と施行されています。

当社では、廃棄物のプロとして、特に廃棄物を目の前にしてお客様との接点が多い収集オペレーターと営業部について、お客様へ情報を提供できるように定期的に社内勉強会を実施しています。また、その他の部署の職員についても、法的知識向上のための法律勉強会やテストを実施する他、新入

社員に対しては、約1ヶ月に渡って各部署による講義や現場体験、ロールプレイングを実施します。講師になるのは各部署の先輩社員ですが、教えることによって講師自身の成長にもつながっています。



表彰制度

あらゆる報奨制度によって、社員のモチベーションアップに努めています。

社長賞・優秀賞・努力賞	会社の業務において大きな功績を挙げた職員への報奨
お褒めの言葉賞	お客様からお褒めいただいた職員への報奨
コストダイエット報奨	業務改善等を自主的に提案し、コスト削減を提案した職員への報奨
ネーミング賞（名称募集）	新規商品・サービスの名称を社員へ募集し、採用された職員への報奨
A重油ランキング賞	焼却炉の運転において、消費するA重油の量が少なかった上位3名の職員への報奨
安全運転ランキング賞	収集運搬車両の運転において、塵芥車、コンテナ車、アルミバン車の3車種別に、デジタコによる安全運転ランキングが1位だった職員への報奨
年間MVP・アースサポーター賞 グッドジョブ賞	1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取組みを行った職員またはチームへの報奨
部門賞	1年間、各部署ごとで投票により選出された功労者に贈られる報奨



安全衛生への取り組み

CSR Report 2012

事業継続計画 (BCP) の策定

事業継続計画 (BCP : Business Continuity Plan) とは、災害、事故など自社の業務を中断させるような事態が発生した場合に備え、“重要な業務を止めない、あるいは許される時間内に事業を復旧させるための対策”をまとめた計画のことを言います。私たちの営む廃棄物収集運搬・処理業務は、社会生活に密接に関係している「ライフライン」のような役割を担っていますので、BCPの策定が必要だと考え、各部署が集まり約9ヶ月間かけて昨年3月に策定しました。今後、各部署で具体的な事前対策を検討し、また実際の訓練等を行うことで、万が一の時もその責任をしっかりと全うしていきたいと考えています。

また、平成24年3月14日に開催された島根県主催のBCPセミナーにおいて、当社のBCP策定

事例を紹介させていただく機会をいただきました。他社様の策定したBCP事例などから当社の今後の検討事項なども確認でき、良い機会となりました。



CSR Report 2012

収集車両ナビ導入

車両運転時の安全性向上と収集作業の効率化を図るため、平成23年9月にフックロール車全車にカーナビを導入しました。また、塵芥車 (パッカー車) とフックロール車全車にドライブレコーダーを設置



しています。収集車両1台につき、正面、運転席室内、運転席右側面、後ろ側の計4箇所に小型カメラを取り付け、その映像を記録しております。録画した映像は、SDカードに記録されパソコンで見ることができます。このドライブレコーダーを設置することで、事故発生時の状況確認やヒヤリハット事例として確認が可能となり、事故の発生を未然に防止することにつながることができます。また、収集ルート改善や収集ドライバー間の引継ぎ資料、回収時の取り漏れ確認等、様々な管理に活用することができます。



アースファームだより

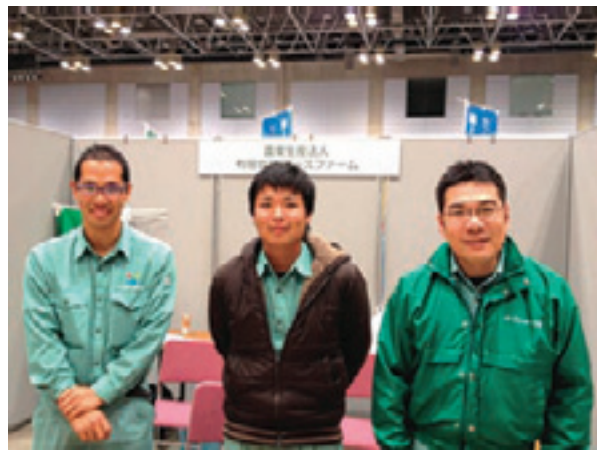
CSR Report 2012

第1回しまねオーガニックフェアに出展



平成23年12月10日にくにびきメッセで開催された「第1回しまねオーガニックフェア」にブースを出展しました。くにびきメッセ1階の大展示場に約40団体のブースが設置され、各団体それぞれが用意した有機農産物の販売・試食が行われました。アースファームでは、里芋、にんじん、鴨頭ねぎの販売をさせていただいたところ、午前中のうちに完売いたしました。多くの方にアースファームのブー

スにお越しいただき、良い広報活動にもなりました。今回は主催者様側からのご要望もあり、飲食ブースから排出された「生ゴミ」に関しても分別していただき、アースサポートで液体肥料へリサイクルを行いました。



CSR Report 2012

アースファームブログ「野菜日記」を開設

アースファームで育てている野菜の成長をブログ形式でお伝えしておりますので、ぜひご覧ください。



ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのつながり

安全衛生へのとりくみ

アースファームだより

CSR Report 2012

販売実績

栽培した野菜は、近隣の旅館や飲食店の納品の他、スーパーでの店舗販売も行っています。



エコファーマーとして島根県の認定を受け、アースファームで栽培した農産物は、農薬不使用の「エコロジー農産物」として販売しています。



ラパン城北店様



みしまや上の木店様



HOKキャスパル店様



HOK山代店様

●HOK乃木店様 ●ラパン上乃木店様 ●ラパン西川津店様 ●みしまや田和山店様

CSR Report 2012

アースファームの野菜



鴨頭ねぎ



生姜



オクラ



里芋



トマト



ジャガイモ

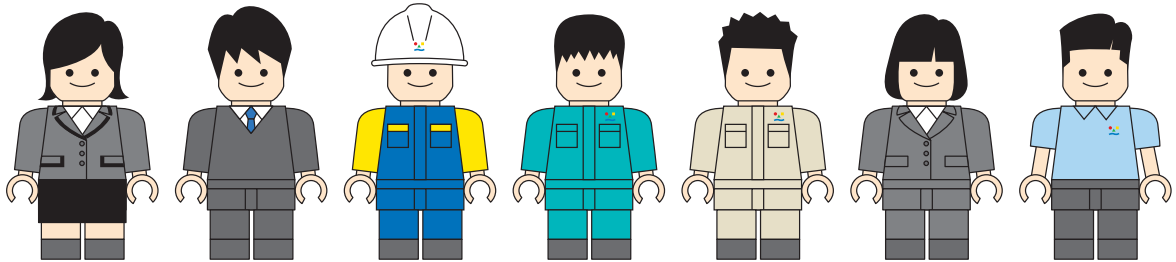
「アースサポート株式会社 CSR報告書2012」 をお読みいただきありがとうございました。

このCSR報告書は、当社の環境活動をはじめ、社会活動、社員への活動を含めたサステナビリティレポートに近い形にしております。わたしたちの活動内容を皆様にわかりやすくお伝えできるよう作成しましたが、不十分な点があると思いますので、ぜひ皆様のご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

裏面のアンケートにご回答の上、FAXにてお送りいただくか、右下のアンケートはがきの回答をご記入の上、そのまま投函くださいますようお願いいたします。



アンケートにお答えいただいた方の中から
抽選で、(有)アースファームの農場で収穫した
「季節のお野菜」をプレゼントいたします。



切手を貼らずに封筒に入れてください。

差出有効期間
平成26年7月
31日まで



料金受取人払郵便

郵便はがき

6 9 0 - 8 7 9 0

アースサポート株式会社 行

島根県松江市八幡町八二番地11

646

FAX:0852-37-2892

Q1 アースサポート株式会社 CSR報告書2012をご覧になって
どのように感じられましたか？

①当社の環境・社会活動自体について

1. 非常に評価できる 2. 評価できる 3. ふつう
4. あまり評価できない 5. 評価できない

②わかりやすさについて

1. 非常にわかりやすい 2. わかりやすい 3. ふつう
4. ややわかりにくい 5. わかりにくい

③内容について

1. 非常に充実している 2. 充実している 3. ふつう
4. ややもの足りない 5. もの足りない

Q2 本報告書の中で、特に興味を持たれたものはどの項目ですか？（複数可）

1. 組織体制 2. アースサポートのあゆみ 3. トップメッセージ 4. ハイライト
5. 環境とのかかわり 6. 地域とのかかわり 7. 社会とのかかわり 8. お客様とのかかわり
9. 社員とのかかわり 10. 安全衛生への取り組み 11. アースファームだより

Q3 本報告書をどのような立場でご覧になりましたか？

1. 一般 2. お取引先 3. NPO・NGO 4. 学生 5. 行政関係 6. 社員・ご家族
7. 研究・教育機関 8. 当社近隣の方 9. 報道関係 10. その他

Q4 本報告書をどのようなカタチでお知りになりましたか？

1. 当社からの郵送 2. 当社ホームページ 3. アースサポートNEWS
4. メールマガジン 5. 当社従業員より 6. その他（ ）

Q5 今後のアースサポートの活動に望まれること、期待されること

Q6 本報告書に関するご意見等ございましたらご記入をお願いいたします

CSR報告書2012アンケート

Q1 ① ② ③

Q2 _____

Q3

Q4

Q5 _____

Q6 _____

お名前

住 所 〒 _____

電 話 _____

E-mail _____

切り取って郵送いただくか、
このままFAXしてください。
※記入していただいた個人情報は、
本アンケート以外の目的で
使用いたしません。

編集後期

『CSR 報告書 2012』は、対象期間を平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までとし、アースサポート株式会社の全事業について掲載しています。関係各位の皆様方にご助力いただきましたことを改めて御礼申し上げます。

私たちは、環境に対する取組みだけでなく、地域や社会、お客様、社員に対するさまざまな取組みを実施するとともに、その情報公開に努めてまいりました。地域の皆様をはじめ、一般の方にも読みやすいよう写真を多く使用し、わかりやすく読みやすい報告書の製作を心がけています。そのため、内容に不十分なところも多々ございますので、ぜひ皆様のご意見をご参考にし、今後のより良い CSR 報告書づくりに取り組んで参りたいと考えております。

編集・製作 総務・企画部経営企画係

過去の 環境報告書 CSR報告書





Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2

TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892

E-mail:earth@earth-support.jp

<http://www.earth-support.jp>



ISO 14001
JQA-EM1465
本社
廃棄物・リサイクル



このCSR報告書の製造に伴って排出されるCO₂は、
植林事業によってオフセットされています。